

高知県感染症発生動向調査（週報）

2017年 第5週（1月30日～2月5日）

★お知らせ

○インフルエンザに気を付けて！

高知県全域で警報値である30.0を超えています。

定点医療機関当たりの報告数は第4週の39.94から第5週では50.60と増加しています。

中央東と安芸以外の地域で増加し、県全域と中央西、高知市、幡多、須崎、中央東で警報値を超え、安芸では注意報値を超えています。迅速検査ではインフルエンザA型が99.3%、B型0.7%と検出割合に大きな変化はありませんが、感染症情報収集システム※では、インフルエンザB型の報告が少しずつ増加しています。

病原体検出情報では第5週に搬入された検体で、高知市、中央東、須崎、幡多からInfluenza virus A H3 NTが計6件、高知市からInfluenza virus B/Victoriaが1件検出されています。

学校等における集団発生の報告でも休校や学年、学級閉鎖の報告が増加しています。

全国でも定点医療機関当たりの報告数が第3週の28.66から第4週では39.41と増加し、警報値を超えていることから引き続き注意が必要です。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況は、直近の5週間（2016年第52～4週）ではAH3亜型の検出割合が最も多く91.9%、次いでB（ビクトリア系統）が3.49%、B（山形系統）3.06%、AH1pdm09が1.31%、B（系統不明）が0.22%の順でした。

インフルエンザの流行期に入っていますので、外出後の手洗いなどの感染予防を心がけましょう。症状がある方は咳エチケットを心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人ごみを避けるなどの対策も感染予防には有効です。

高知県の保健所別の定点当たり報告数と警報・注意報レベル状況（2017年第5週）

	今週		1週前		2週前		3週前		4週前		5週前		6週前	
	第5週		第4週		第3週		第2週		第1週		第52週		第51週	
	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況
高知県全域	50.60	△	39.94	△	28.75	○	14.25	○	10.21	○	7.08	-	4.42	-
安芸	26.25	○	32.00	△	21.00	○	12.00	○	3.75	-	3.50	-	1.75	-
中央東	34.91	△	36.27	△	24.91	○	8.73	-	8.91	-	3.64	-	1.18	-
高知市	67.44	△	48.88	△	31.00	△	20.56	○	12.81	○	9.63	-	8.06	-
中央西	69.00	△	40.80	△	28.40	○	13.20	○	14.20	○	10.80	○	4.60	-
須崎	38.25	△	21.75	○	13.50	○	9.00	-	11.25	○	7.75	-	2.75	-
幡多	45.38	△	39.63	△	41.25	△	13.63	○	7.00	-	5.88	-	3.63	-

注意報値：○（10以上30未満） 警報値：△（30以上）

学校等における集団発生

※感染症情報収集システム

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計
休校	第5週	0	0	0	1	0	0	1
	累計	3	0	0	1	1	1	6
学年閉鎖	第5週	5	3	6	1	3	2	20
	累計	10	5	11	3	5	9	43
学級閉鎖	第5週	0	0	18	3	0	3	24
	累計	1	1	36	3	0	4	45

インフルエンザの飛沫感染対策【咳エチケット】

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- （1）普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- （2）咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- （3）手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

■ 飛沫感染対策ではマスクは重要です。特に感染者がマスクをすることが、感染の拡散を抑える効果が高いと言われています。

- 厚生労働省 「平成28年度今冬のインフルエンザ総合対策について」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

- 厚生労働省 「平成28年度インフルエンザ Q&A」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！ 高知市で注意報値である4.00を超えています。

定点医療機関からの報告数は第4週の1.43から第5週では2.33と増加しています。高知市、幡多、安芸で増加し、高知市では注意報値を超えています。

定点医療機関からのホット情報では23例の報告があり、その内、インフルエンザと溶連菌感染症の同時感染6例の報告もあります。感染症情報収集システム※でも13例の報告があることから、引き続き注意が必要です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる飛まつ感染、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染が主な感染経路です。

乳幼児では咽頭炎、年長児や成人、特に妊婦では扁桃炎が現れ重症化することもあるため、うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第4週の7.43から第5週では7.17と横ばいです。県全域から報告があり、幡多と安芸で増加しています。

病原体検出情報では第5週に搬入された検体では高知市、中央東、須崎からNorovirus GII NTが計4件検出され、第4週に搬入された検体では高知市からRotavirus group A G9が1件検出されています。

定点医療機関からのホット情報でノロウイルス4例、ロタウイルス1例、感染性胃腸炎33例の報告があります。また、感染症情報収集システム※でも53例の報告があることから、今後も引き続き注意が必要です。

ノロウイルスなどのウイルスを原因とする感染性胃腸炎は嘔吐、下痢が主症状ですが、その他、発熱、腹痛などの症状があります。特に、乳幼児や高齢者、体力の低下している方は、下痢、嘔吐などで脱水症状を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診してください。通常は1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長いときには1ヶ月程度ウイルスの排出が続くことがあります。

特にノロウイルスを原因とする場合、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

予防には手洗いが有効です。帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、マスクや使い捨ての手袋を着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用方法を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。調理をする場合には、十分に加熱しましょう。

- 厚生労働省 「ノロウイルスに関する Q&A」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

- 厚生労働省 「ノロウイルス等の食中毒予防のための適切な手洗い（動画）」

<https://www.youtube.com/watch?v=z7ifN95YVdM&feature=youtu.be>

- 衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

○咽頭結膜熱に気を付けて！

幡多で注意報値である 1.00 を超えています。

定点医療機関当たりの報告数は第 4 週の 0.07 から第 5 週は 0.23 と急増しています。幡多で増加し、幡多では注意報値を超えています。

感染経路は通常、飛まつ感染または手指を介した接触感染です。

以下のことに気を付け、感染予防に努めましょう。

- 1) 流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。
- 2) 感染者との密接な接触は避けましょう。
- 3) タオル等は別のものを使いましょう。

○マイコプラズマ肺炎に気を付けて！

基幹定点当たりの報告数は第 4 週の 0.50 から第 5 週では 0.25 と急減しています。

病原体検出情報では須崎から第 5 週に搬入された臨床診断名：百日咳の検体で *Mycoplasma pneumoniae* が計 2 件検出されています。

定点医療機関からのホット情報では 19 例の報告があり、感染症情報収集システム※でも 10 例の報告があるなど報告数の多い状態であることから、引き続き注意が必要です。

感染経路は患者の咳のしぶきを吸いこんだり、患者と身近で接触したりすることにより感染すると言われています。保育園や幼稚園、学校、あるいは家庭内等での伝播がみられます。

予防対策としては、手洗いと咳エチケットです。

※ 感染症情報収集システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS・つつが虫病）に注意！

日本紅斑熱や SFTS（重症熱性血小板減少症候群）は比較的大型（吸血前で 3～4mm）のマダニが、つつが虫病はツツガムシというわずか 0.3mm ほどのダニの幼虫が媒介する感染症です。

すべての、マダニやツツガムシが病原体を持っているわけではありませんが、これらのダニに咬まれないようにすることが感染の予防になりますので引き続き、注意が必要です。予防するためのワクチン等はありません。

マダニやツツガムシは野外に生息しています。野山や畑、草むらなどに出かけるときは十分注意しましょう。長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、ダニ用の忌避剤を使用する等して、ダニに咬まれないようにしましょう。

昨年 1 月には SFTS の患者報告もありました。冬場でも注意してください。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2 週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

- 高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。

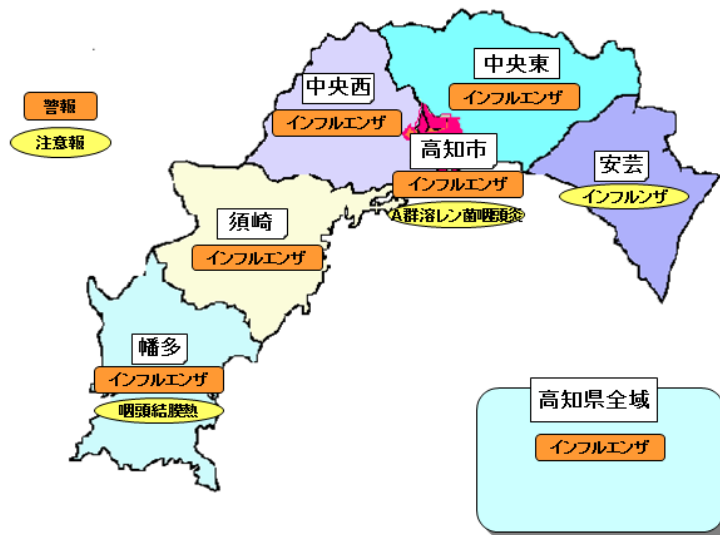
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減
 5週（1月30日～2月5日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	↗	50.60	中央東、安芸以外の地域で増加しています。 県全域と中央西、高知市、幡多、須崎、中央東では警報値を超え、安芸では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	→	7.17	幡多、安芸で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	2.33	高知市、幡多、安芸で増加し、高知市では注意報値を超えています。
RSウイルス感染症	↑	0.67	中央西、幡多、中央東、高知市で増加しています。
水痘	↘	0.33	幡多で増加しています。

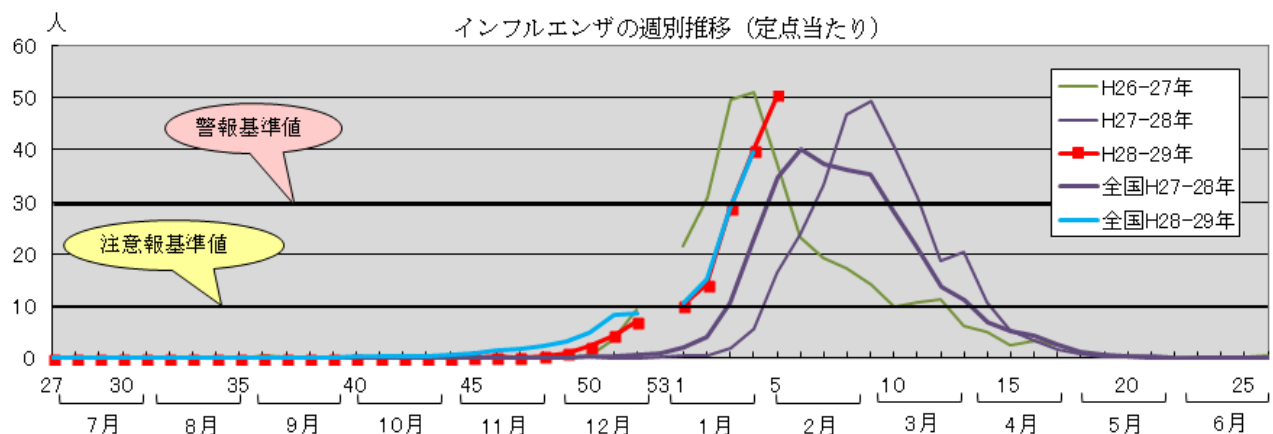
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

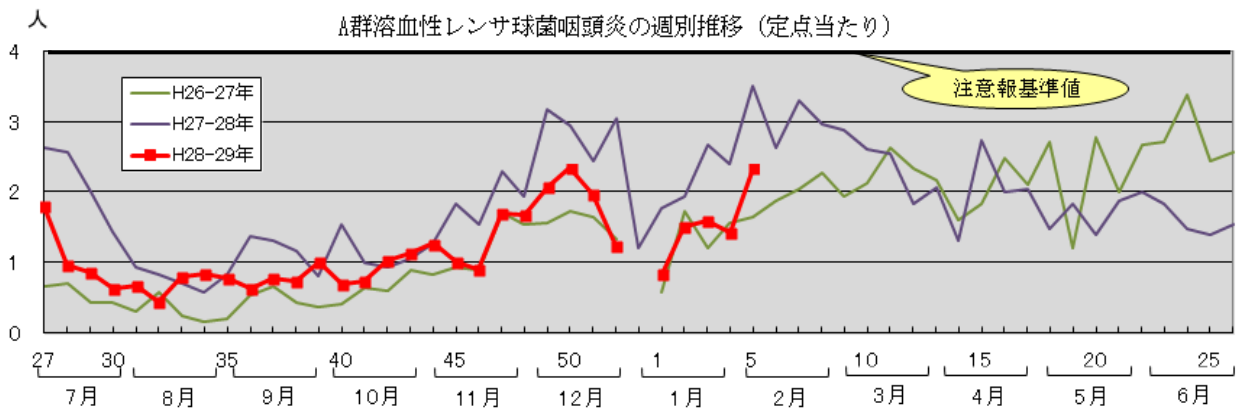
○インフルエンザ 第5週：50.60（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 50.60（前週：39.94）と増加しています。中央東、安芸以外の地域で増加し、県全域と中央西 69.00（前週：40.80）、高知市 67.44（前週：48.88）、幡多 45.38（前週：39.63）、須崎 38.25（前週：21.75）、中央東 34.91（前週：36.27）では警報値を超え、安芸 26.25（前週：32.00）では注意報値を超えています。



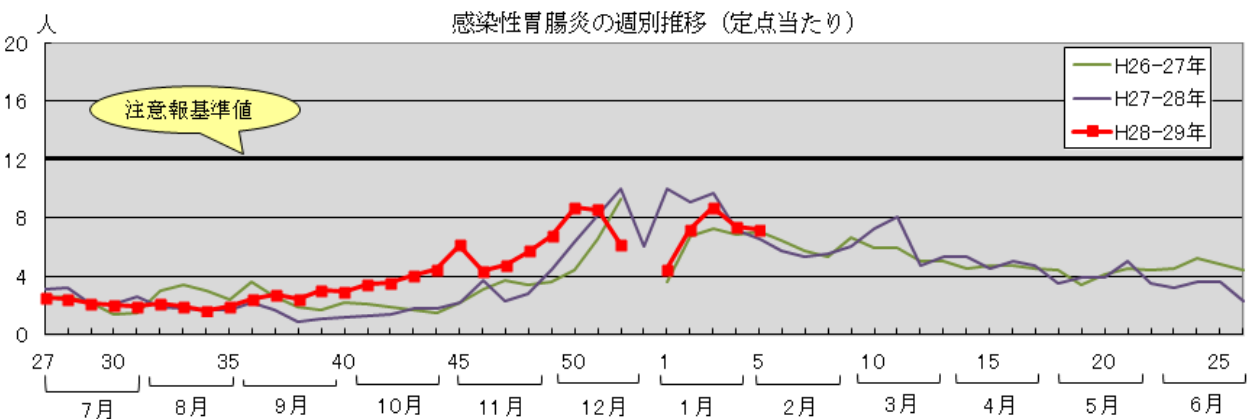
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第5週：2.33 (注意報値：4.00 警報値：8.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.33 (前週：1.43) と増加しています。高知市 4.18 (前週：1.73)、幡多 1.80 (前週：0.80)、安芸 0.50 (前週：0.00) で増加し、高知市では注意報値を超えています。



○感染性胃腸炎 第5週：7.17 (注意報値：12.00 警報値：20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 7.17 (前週：7.43) と横ばいです。幡多 9.80 (前週：6.00)、安芸 6.50 (前週：4.50) で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。

そのため、H26-H27年とH28-H29年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
5	インフルエンザ	8	女	高知市	Influenza virus A H3 NT
					Influenza virus B/Victoria
5	インフルエンザ	31	女	中央東	Influenza virus A H3 NT
5	インフルエンザ	12	男	中央東	Influenza virus A H3 NT
5	インフルエンザ	64	女	須崎	Influenza virus A H3 NT
5	インフルエンザ	10	女	須崎	Influenza virus A H3 NT
5	インフルエンザ	10	女	幡多	Influenza virus A H3 NT
5	感染性胃腸炎	14	男	高知市	Norovirus GII NT
5	感染性胃腸炎	6	女	中央東	Norovirus GII NT
5	感染性胃腸炎	4	女	須崎	Norovirus GII NT
5	感染性胃腸炎	8	女	須崎	Norovirus GII NT
5	百日咳	3	女	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
5	百日咳	5	男	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
4	不明発疹症	8	男	須崎	Human herpes virus 7
4	伝染性紅斑の疑い	13	女	幡多	Human herpes virus 7
4	感染性胃腸炎	2	男	高知市	Rotavirus group A G9

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
3	不明発疹症	10ヶ月	男	須崎	Human herpes virus 6
3	口内炎（ウイルス性）	5	男	須崎	Human herpes virus 7

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	6	80歳代女	幡多
	結核	1	7	50歳代男	高知市
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	90歳代女	中央西

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	あけぼのクリニック	インフルエンザ A 型 62 例、B 型 2 例
		マイコプラズマ感染症 3 例 (7 歳、8 歳、10 歳)
		RS ウイルス感染症 2 例 (1 歳、2 歳)
	高知大学医学部附属病院 小児科	(病棟) 1 歳女ヒトメタニューモウイルス気管支炎
	野市中央病院小児科	A 型インフルエンザ (全員検査で) 18 例 (2 歳男ワクチン済、14 歳男ワクチン済、12 歳男ワクチン未、13 歳女ワクチン済、13 歳男ワクチン未、3 歳男ワクチン済、13 歳男ワクチン未、14 歳男ワクチン未、13 歳女ワクチン済、13 歳男ワクチン未、1 歳男ワクチン済、7 歳女ワクチン済、14 歳男ワクチン未、13 歳男ワクチン済、15 歳男ワクチン済、8 歳男ワクチン未、12 歳男ワクチン未)
		マイコプラズマ肺炎 3 例 (3 歳男、4 歳女、8 歳男)
早明浦病院小児科	1 歳ノロウイルス感染性胃腸炎 1 例	
	A 型インフルエンザ 2 歳から 13 歳 5 例	
	溶連菌感染症 (本山町) 2 例	
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 5 例 (6 歳 3 人、10 歳、13 歳)
	高知医療センター小児科	ヒトメタニューモウイルス 1 例 (1 歳男)
		インフルエンザウイルス 11 例 (2 歳女 4 人、5 歳女、7 歳男、8 歳女、12 歳男、13 歳男女、19 歳男)
	三愛病院小児科	マイコプラズマ肺炎 3 例 (7 歳男、8 歳女、11 歳女)
	福井小児科・内科・ 循環器科	インフルエンザと溶連菌感染症同時感染 6 例 (11 ヶ月女、3 歳男、4 歳男、8 歳男女、10 歳男)
		溶連菌感染症 21 例
		伝染性紅斑 1 例 (2 歳男)
	細木病院小児科	インフルエンザ A 型 80 例、B 型 1 例 ワクチン接種済 14 例
ノロ 3 例 (1 歳男女、2 歳男) ロタ 1 例 (1 歳女)		
中央西	石黒小児科	顔面単純ヘルペス 1 例 (7 歳男)
		単純ヘルペス (口角) 1 例 (67 歳男)
		インフルエンザ A 型 117 例 B 型 1 例
	くぼたこどもクリニック	インフルエンザ A 型 いの町 (6 歳男)、高知市 (11 歳女)
日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎 1 例 (6 歳男)	
須 崎	もりはた小児科	インフルエンザ 80 例 すべて A 型
		マイコプラズマ肺炎 3 例 (2 歳、5 歳、11 歳)
幡 多	さたけ小児科	アデノウイルス 1 例 (1 歳女)
		マイコプラズマ 1 例 (7 歳女)
		インフルエンザ 88 例 全て A 型
		感染性胃腸炎 33 例
	幡多けんみん病院小児科	h MPV 陽性 3 例 (2 歳男、11 歳女、12 歳女)
渭南病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1 例 (2 歳男)	

★全国情報

第3号（1月16日～1月22日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核305例

3類感染症：細菌性赤痢6例、腸管出血性大腸菌感染症19例

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎4例、エキノкокクス症1例、ジカウイルス感染症1例、
チクングニア熱1例、つつが虫病9例、デング熱9例、マラリア1例、レジオネラ症17例

5類感染症：アメーバ赤痢15例、ウイルス性肝炎4例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症28例、
急性脳炎9例、クロイツフェルト・ヤコブ病4例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症8例、
後天性免疫不全症候群15例、侵襲性インフルエンザ菌感染症7例、
侵襲性肺炎球菌感染症58例、水痘（入院例に限る）3例、梅毒63例、
播種性クリプトкокクス症3例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、
風しん2例、麻しん5例、薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

報告遅れ：つつが虫病1例、ブルセラ症1例、レジオネラ症2例、
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症9例、急性脳炎7例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、梅毒25例、播種性クリプトкокクス症2例、
バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん1例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第5週 平成29年1月30日(月)～平成29年2月5日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所							計	前週	全国(4週)	高知県(5週末累計) H29/1/2～H29/2/5	全国(4週末累計) H29/1/2～H29/1/29
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ	105	384	1,079	345	153	363	2,429 (50.60)	1,917 (39.94)	195,501 (39.41)	6,900 (143.75)	465,767 (94.04)	
小児科	咽頭結膜熱						7	7 (0.23)	2 (0.07)	976 (0.31)	21 (0.70)	3,817 (1.21)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	7	46	7		9	70 (2.33)	43 (1.43)	6,852 (2.17)	231 (7.70)	21,061 (6.67)	
	感染性胃腸炎	13	52	68	23	10	49	215 (7.17)	223 (7.43)	20,117 (6.36)	1,050 (35.00)	79,575 (25.19)	
	水痘		3	1	2		4	10 (0.33)	13 (0.43)	1,087 (0.34)	82 (2.73)	5,354 (1.69)	
	手足口病			1				1 (0.03)	2 (0.07)	542 (0.17)	11 (0.37)	2,187 (0.69)	
	伝染性紅斑			3			1	4 (0.13)	5 (0.17)	292 (0.09)	25 (0.83)	1,222 (0.39)	
	突発性発疹			5	1	1	1	8 (0.27)	7 (0.23)	1,153 (0.36)	37 (1.23)	4,490 (1.42)	
	百日咳							()	1 (0.03)	25 (0.01)	4 (0.13)	92 (0.03)	
	ヘルパンギーナ							()	()	99 (0.03)	()	370 (0.12)	
	流行性耳下腺炎		2	2			5	9 (0.30)	8 (0.27)	1,878 (0.59)	42 (1.40)	9,074 (2.87)	
	RSウイルス感染症	2	4	6	4		4	20 (0.67)	10 (0.33)	1,121 (0.35)	102 (3.40)	4,923 (1.56)	
	眼科	急性出血性結膜炎							()	()	2 ()	()	27 (0.04)
		流行性角結膜炎			1				1 (0.33)	()	338 (0.49)	5 (1.67)	1,528 (2.21)
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	6 (0.01)	1 (0.13)	30 (0.06)	
	無菌性髄膜炎							()	()	15 (0.03)	()	61 (0.13)	
	マイコプラズマ肺炎		1	1				2 (0.25)	4 (0.50)	241 (0.51)	22 (2.75)	1,205 (2.54)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	1 (0.13)	10 (0.02)	2 (0.25)	30 (0.06)	
	感染性胃腸炎			1				1 (0.13)	()	46 (0.10)	4 (0.50)	130 (0.27)	
計 (小児科定点当たり人数)		121 (34.25)	453 (44.63)	1,214 (79.43)	382 (81.33)	169 (46.25)	438 (60.38)	2,777 (62.06)		230,301	8,539 (197.24)	600,943	
前週 (小児科定点当たり人数)		140 (38.00)	477 (47.28)	914 (60.50)	241 (53.13)	107 (31.75)	357 (47.63)		2,236 (50.40)				

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所							計	前週	全国(4週)	高知県(5週末累計) H29/1/2～H29/2/5	全国(4週末累計) H29/1/2～H29/1/29
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ	26.25	34.91	67.44	69.00	38.25	45.38	50.60	39.94	39.41	143.75	94.04	
小児科	咽頭結膜熱						1.40	0.23	0.07	0.31	0.70	1.21	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	1.00	4.18	2.33		1.80	2.33	1.43	2.17	7.70	6.67	
	感染性胃腸炎	6.50	7.43	6.18	7.67	5.00	9.80	7.17	7.43	6.36	35.00	25.19	
	水痘		0.43	0.09	0.67		0.80	0.33	0.43	0.34	2.73	1.69	
	手足口病			0.09				0.03	0.07	0.17	0.37	0.69	
	伝染性紅斑			0.27			0.20	0.13	0.17	0.09	0.83	0.39	
	突発性発疹			0.45	0.33	0.50	0.20	0.27	0.23	0.36	1.23	1.42	
	百日咳								0.03	0.01	0.13	0.03	
	ヘルパンギーナ									0.03		0.12	
	流行性耳下腺炎		0.29	0.18			2.50		0.30	0.27	0.59	1.40	2.87
	RSウイルス感染症	1.00	0.57	0.55	1.33		0.80	0.67	0.33	0.35	3.40	1.56	
	眼科	急性出血性結膜炎											0.04
		流行性角結膜炎			1.00				0.33		0.49	1.67	2.21
基幹	細菌性髄膜炎									0.01	0.13	0.06	
	無菌性髄膜炎									0.03		0.13	
	マイコプラズマ肺炎		1.00	0.20				0.25	0.50	0.51	2.75	2.54	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								0.13	0.02	0.25	0.06	
	感染性胃腸炎			0.20				0.13		0.10	0.50	0.27	
計 (小児科定点当たり人数)		34.25	44.63	79.43	81.33	46.25	60.38	62.06			197.24		
前週 (小児科定点当たり人数)		38.00	47.28	60.50	53.13	31.75	47.63		50.40				

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869